

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2022 年 1 月 20 日開催分)

開催年月日： 2022 年 1 月 20 日(木) 11:00~13:00

開催場所： オンライン開催

委員の出席： 番組審議員 6 名

WOWOW プラス 7 名

出席者

〔審議員〕青木真弥、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、

村上典吏子、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）

〔放送事業者〕大熊和彦、廣田敦、富田純代、青木昭、山下泰司、

高木慶、渋谷明子(記)

欠席者

〔審議員〕池ノ辺直子（敬称略）

議題： (1) 2021 年 10 月～12 月の WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について

(2) WOWOW プラスの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2021 年 10 月～12 月における WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社コンテンツプロデュース局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： 〔審議番組〕

『機動戦士ガンダム UC』全 7 話一挙放送&福井晴敏関連作特集

<番組概要>

人気作家・福井晴敏が原作やストーリー、脚色を手掛けた「機動戦士ガンダム」OVA シリーズ、

そして、原作もしくは脚本化として携わった実写映画を福井晴敏、本人の解説付きで一挙放送する特別企画！

審議内容： ■審議員意見

- ・『機動戦士ガンダム UC』では、モビルスーツの変遷について福井氏が変えようとしたことや、実写 3 作品については、作家としてどのように作品に関わったかが判った。ご自身でも言っていた「福井節」について説明があったら良かった。

- ・制作に至る背景や印象深いエピソードなど、ファンが喜ぶ内容だった。成功譚のみならず、上手くいかなかったことについてインタビュー出来ているのが良かった。
- ・ご自身の思いやスタンスが言葉に表れており、インタビューがとても面白い。初見の視聴者にはよく分からない箇所もあり、2回目以降の視聴者向き。福井氏のようにメディアを超えて活躍するクリエイターの発信の場となる番組の制作は評価できる。
- ・福井氏は、作品毎に様々な役割をしている。どういう人かと思いつつ見ると面白かった。公開時、宣伝を多く見ていたからか、映像も思い浮かび「見たつもり」になってしまう事もあるので、作品を見る機会となる。
- ・インタビューでは福井氏の狙いや何を描きたいのかが分かった。ただ過去に観たことがないと分からないところもあり、作品の終了後に聞きたい話だったのではないかと思う。また、放送のなかった代表作の『ローレライ』についても話を聞きたいと思った。
- ・全体的には好印象。アニメーションと実写映画で、別の特集にしても良いのではないか。福井氏が職業作家から、映画の脚本家・映画のプロデューサーへと活躍の場を広げていったという紹介もあったら良かった。

連絡事項： 次回番組審議会は、2022年4月21日（木）11時より開催予定。

以上